

豊郷町隣保館だより

2023年6月23日発行 豊郷町隣保館 ☎0749-35-0611 No.231



6月23日は『沖縄慰霊の日』。沖縄戦で亡くなった人たちの霊を慰める日です。摩文仁の丘平和公園で「平和の礎」に手を合わせる人々。

『沖縄慰霊の日2023』で読まれる詩です
【今、平和は問いかける】 沖縄在住高校3年

夏六月 溶けかけたアイスを手にとり出す

緑萌ゆるこの島の昼下がり

礎にきざまれた「兄」に まるであの日のように

そっと触れるおばあの涙は 陽炎が摩文仁の丘に

ただ果てしなく広がっていく

その涙は体を包み込み 私を「あの日」へといざなう

限らないこの空は 何を覚えているのだろうか

涙に満ちたおばあの瞳は何を語りかけているのだろう

七十八年前のあの日 あの時 かけがえのない

たった一つの命が憎しみと悲しみの中で散っていった

名もなき赤子の微かな 微かな鳴き声は

震える母の手によって

冷たく光のないガマの中で儚く消えていった

幾多もの砲弾が紺碧の海を黒く染める鉄の嵐となって

この島に降り注いだ

戦争が起きる前 そこには日常があった

私たちと同じように原っぱを駆け回り

友達とおしゃべりをする

みんなで温かいご飯を食べ 時には泣き 時には笑い

時には「ありがとう」を伝える

そんな今と変わらない日常が 平和がそこにはあった

平和は不確かで脆く崩れやすい

いつもすぐそばにあるのに いつのまにか消えていく

おばあの涙は摩文仁の丘に永遠（とわ）に灯る

平和の日は今 私たちに問いかける

平和とは何かを 私たちに出来ることは何かを